

厚生労働省指定
臨床実習指導者講習会（滋賀県講習会 2024）

日 時

2025年10月11日（土） 9:20～18:50（受付：8:50～）
2025年10月12日（日） 8:45～16:05（受付：8:15～）

実施方法

zoom によるオンライン講習会（演習は Google Drive を使用）

* 講習会前には回線確認と事前演習を含めたオリエンテーションを行います。（9月中旬予定）

受講者の条件

- ① 実務経験4年以上の作業療法士および理学療法士 ※いわゆる4年目（3年〇ヶ月）は不可
- ② 講習会を完全受講できる。（いかなる理由でも中断の場合は修了書を発行できない）。
- ③ 安定した受信環境で受講ができる。
- ④ zoom コードや必要資料等をメール送信するため、パソコンで使用できるアドレスが用意できる。
- ⑤ 演習ではワーク課題を共同作成するため、PC（カメラ・マイク機能付き）またはタブレット*での受講ができる。
- ⑥ 本講習会の事前リハーサル（3回開催の内、1回（一時間程度））に参加が可能である。

※マイク・カメラ機能付きのタブレットであり、Google のドキュメントとスプレッドシートの編集作業が可能である、といった条件が揃っている場合のみ申し込みを認めます。

受講区分と費用：

- 滋賀県の在住もしくは所属施設の作業療法士
- 滋賀県以外の近畿2府3県の在住もしくは所属施設の作業療法士
 - 士会員 受講費無料 +別途 資料代 1,000 円
 - 士会非会員 受講費 5,000 円 +別途 資料代 1,000 円
- 上記以外の作業療法士および理学療法士
 - 協会員 受講費 5,000 円 +別途 資料代 1,000 円

* 資料代は講習会前に日本作業療法士協会から郵送（代引き）される予定です。

* 受講費は申込み後に一括メールにてご案内します。

* 士会員とは、日本作業療法士協会を含め当年度までの年会費を納入済みであることとします。
その他区分のご相談は事務局までお問い合わせください。

生涯教育ポイント：4ポイント付与（日本作業療法士協会会員のみ）

修了証：講習会後に日本作業療法士協会より郵送

定員：50名

申し込み：

通信速度を計測するため必ず当日使用する PC からエントリーして下さい。

下の URL を打ち込むか、滋賀県作業療法士会 HP の「教育局お知らせ」からアクセスできます。

申し込み URL：<https://forms.gle/bUXa7xQxjcRbArkY6>

* 都道府県士会・協会の方は年会費の納入をお願いします。

受付期間：2025年8月4日（月）12：00 まで

受講決定通知：

申込締切後、2週間以内にメールにてご連絡する予定です。受講決定後のキャンセルであった場合、受講費・資料代の払い戻しは対応しかねることをご了承ください。

個人情報保護：

参加申込みの際にご登録いただきました個人情報は、臨床実習指導者講習会に関する運用以外に使用致しません。

世話人：栗谷 明至（琵琶湖中央リハビリテーション病院） 桃井 駿（滋賀県立精神医療センター）
寺井 淳（びわこリハビリテーション専門職大学） 鈴木崇孔（南草津病院）
河津 拓（びわこリハビリテーション専門職大学） 中西 佑（坂田メディケアセンター）
杉本久美子（びわこリハビリテーション専門職大学）
鈴木耕平（びわこリハビリテーション専門職大学）

問い合わせ：

一般社団法人滋賀県作業療法士会 教育局臨床実習指導者教育部
（びわこリハビリテーション専門職大学 鈴木耕平）

Tel：0749-46-2330（直） E-mail：sidousya.kousyuukai@gmail.com

<1日目>

8:50～	受付
9:20～9:30	開会 オリエンテーション(講習会の進め方)
9:30～10:00 (30分)	講義 1 理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論
10:00～11:00 (60分)	演習 1 一般目標と行動目標
11:00～11:05 (5分)	休憩 5分
11:05～12:05 (60分)	講義 2-1 臨床実習指導方法論① 学生の特徴と対応 対象者の捉えかた 臨床実習指導のあり方
12:05～13:05 (60分)	講義 2-2 臨床実習指導方法論② 見学・模倣・実施プロセスと指導ポイント コーチング・ティーチング
13:05～13:10 (5分)	休憩
13:10～14:40 (90分)	演習 2 基本的態度・臨床技能・臨床の思考過程の見学・模倣・実施の実践
14:40～14:45 (5分)	休憩
14:45～15:15 (30分)	講義 3 臨床実習における管理・運営 臨床実習の基本構造、ハラスメント、リスク管理、個人情報の保護
15:15～16:15 (60分)	演習 3 ハラスメント防止
16:15～16:20 (5分)	休憩
16:20～17:20 (60分)	講義 4 臨床実習における学生評価 教育評価の意義 学生評価とは 評価の側面と役割(OSCE の活用)
17:20～18:50 (90分)	演習 4 臨床実習における学生評価の実際 重点ポイントの整理および実習遂行が困難な学生への対処法

<2日目>

8:45～9:15 (30分)	講義 5 職業倫理および連携論 多職種連携・チームワーク論、卒後教育との関連
9:15～10:15 (60分)	演習 5 多職種連携
10:15～10:20 (5分)	休憩
10:20～11:20 (60分)	講義 6 臨床実習指導方法論③ 生活行為向上マネジメント(MTDLP)
11:20～12:50 (90分)	演習 6-1 MTDLP によるマネジメント過程の実践
12:50～12:55 (5分)	休憩
12:55～14:25 (90分)	演習 6-2 事例報告書の作成 事例報告書の作成指導・報告の仕方 臨床思考過程の理解と指導
14:25～14:30 (5分)	休憩
14:30～16:00 (90分)	演習 7 作業療法参加型臨床実習の理解 作業療法参加型実習のあり方 臨床実習プログラムの立案
16:00～16:05 (5分)	修了証書授与・閉会・事務連絡

* 演習 2 と演習 6-1 は昼食を取りながら実施致します。